

ウミネコ

2014年4月1日

久しぶりに津軽石川を訪れる、目当てはツバメだ。冬枯れの河川敷に入る、枯れたクルミの木から当時のすごさを感じる。今日の気温は14度、車内に強い日差しが差し込む、地表ではクモが数匹動き回る。季節は確実に春だ！

稲荷橋の下でウミネコが盛んにサケの稚魚めがけて飛び込んでいた、11:07:38 ウミアイサも混じる。

食事するウミネコは30羽ほど、中州には50羽ほどが待機する。11:16:42 川辺にコサギが並ぶ。11:57:51 河口からウミアイサのメス、12:00:51 オスが集まってくる。そのわりに稚魚を啜っているウミネコは見当たらない、ウミアイサも同様だ。思ったよりエサ取りは難しいのだろう。お目当てのツバメは見えない、まだ早いのだろうか？

ふと魚市場のカモメ類の食事と比較する。そちらのエサは、12:52:12(3/10) 今の時期はイサダ。通年でトロール魚があって豊富だ。以前、スケソウタラの他にこんなのがあった。

2月23日、09:26:27 ときには高級なエビ？ 他に市場に出回らないはねものもある。

3月18日、またカモメ類が取り合っている。15:06:11 セグロの幼鳥が飲み込める？ 15:07:02 ウミウも参戦する。15:07:02 獲物はソコダラの仲間トウジン属のオニヒゲ？ 15:07:16 シロカモメも参戦。15:08:03 セグロの幼鳥が一步リードする。19:09:37 そのまま逃げ込み。15:15:34 このあと飲みこんだ。魚市場のほうがおおいに恵まれているようだ。



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨



⑩



⑪



⑫

